



[撮影地]

- P18 | 赤間町
- P19 | 小月駅前
- P20 | 長門町
- P21 | 豊前田町
- P22 | 伊崎町
- P23 | 小月駅前
- P24 | 豊前田町



野村佐紀子 (のむら・さきこ)

1967年、山口県下関市生まれ。九州産業大学芸術学部写真学科卒業後、1年間のスタジオ勤務を経て、91年より写真家荒木経惟に師事。主義として弟子をとらない荒木のただひとりの弟子となる。青年やカップルの裸体を中心に独特な写真世界を追求し、国内各地、ヨーロッパやアジアにも撮影範囲を広げる。毎年夏の福岡市での個展をはじめ、各地で精力的に写真展を開催。写真集に『裸ノ時間』(平凡社)、『愛ノ時間』(BPM)、『暗闇』(Akiko Nagasawa Publishing)、『夜間飛行』(リトルモア)ほかがある。

前回の鉄道特集以来、ちょうど1年ぶりのふるさと下関での撮影。写真に対する思いが、自分の中で変わりかけているタイミングで、たぶんふるさとの見え方も違ってきていて、ふるさとを撮ることと見ることは違う、撮ってみたいとわからない、そんなことを考えながらの撮影でした。それに下関にいたのは18歳までで、酒場には出入りしてないでしょう。まったく知らない顔です。下関のその表情に、おそらくかつてのにぎわいはないんでしょうけど、灯りが点る情景はせつなくて、その感じがとてもいい。ちよつと気持ちがブレる瞬間の、その気持ちを写すのが私の写真だと思っているので、今回のテーマは気持ちが揺れまくり。とても楽しいひとときでした。ほかの街に比べて、下関は灯りがあちこちに点在している。そこに胸がキュンとなります。いつか、ふるさとの写真をふるさとの会場で、皆さんに見いただく機会があればうれしいです。(談)

083

野村佐紀子のプリント暖話